

自然感じながら水の事故防止を 帯広幼稚園児が水辺体験学習

2014/07/17 12:13



ライフジャケットを着け、網で魚をすくう園児たち（午前10時すぎ）

豊かな自然を感じながら水辺の事故を減らすための体験学習が17日午前、帯広市西22南2の帯広川で行われた。真夏並みの太陽の下、帯広幼稚園（山田和雄園長、園児159人）の園児28人が水に親しんだ。

帯広川伏古地区子どもの水辺協議会（関川三男会長）とNPO十勝多自然ネット（西江靖幸理事長）の主催で毎年、同川近隣の園児や小学生を対象に開き、来週と8月にも予定している。

関川会長は、18年前に同川で3歳児が事故死したことを伝え、「十勝の自然は豊かだが、一人では川に絶対入らないで」と注意した。園児は、協議会の大人たちに見守られながら、ド

ジョウをすくったり水を掛け合ったりして、歓声を上げた。

同園の栗山奈穂副主任は「どのように遊ばせたらいいかわからない大人が増える中、貴重な機会」と感謝していた。この日の市内の気温は午前11時51分に30・2度となり、3日連続で真夏日となった。（酒井花）